

大会組み合わせの作成

昇級について

各大会の級別優勝者は、次の同大会には上級でプレーする。昇級後の2年間は同級でプレーし、下級ではプレー出来ない。
ダブルスまたは団体の場合：昨年と同ペア(チーム構成員)の場合は、昇級するが違う場合は、そのままの級とする。

シード順について

- ・昨年の1位は第1シード、2位は第2シード、3位は第3シード、2人目の3位(2位との対戦敗者)があれば第4シード、以下強者順にシードを決めていく。参加者名簿は、各クラブが強者順に申し込みされているので参考にする。
- ・級別で昇格した場合は、上級のシード順の末尾に入れることを基本とするが、実力も含めて臨機応変に対応する。級が統合された場合は、統合された上位級の昨年の入賞者からシードしていく。
- ・ダブルス戦と団体戦は、昨年とペア(チーム構成員)が違う場合、1名でも昨年と同じなら同様の順位と理解して基本通り組み入れる。
団体戦は、前回チームと違うチームから出場している人のシード権は無効とする。(A,B等のサフィックスは無視する)
- ・予選の3チームリーグには4人(6人)チームはなるべく避ける
(予選3チームリーグは試合数が少ないため)

シード順を決定してトーナメント表に入れて、同じクラブをばらけさせる

- ・トーナメント表で、同じクラブ同士が1回戦でなるべく当たらないように、また同じクラブがトーナメント全体になるべく分散するように配慮してリーグ戦の組み合わせを見直し、参加者の強弱者の順を入れ変えていく。
- ・予選ブロック内も、同じクラブの人達や学生や口丹地域が固まらないようにばらけさせる。特に同じクラブで同じレベルの人が同じブロックになることはなるべく避ける。

組み合わせ作成後の棄権対応

- ・トーナメント表の作り直しにならないように予選リーグ数は変更させない
- ・予選リーグが2人(2チーム)になる場合は、4人(4チーム)リーグから1人(1チーム)異動してもらう

組み合わせの作成

シード順を決定して表に記載してみ、トーナメント表や予選ブロック内に同じクラブが固まっていないか確認する。

予選ブロック内のシード順に注意

参加者名簿		
シード順	氏名	クラブ名
2	石川 佳純	マロン
3	田村 美佳	マロン
9	加藤 美優	ほのぼの
10	野村 萌	ほのぼの
7	森 さくら	富本クラブ
8	安藤 みなみ	富本クラブ
6	平野 美宇	亀岡リバティエ
11	森蘭 美咲	亀岡リバティエ
4	伊藤 美誠	亀岡卓研
12	木原 美悠	亀岡卓研
5	松島 美空	園部卓友会
13	長崎 美柚	園部卓友会
1	成本 綾海	卓球つつじ
14	早田 ひな	卓球つつじ

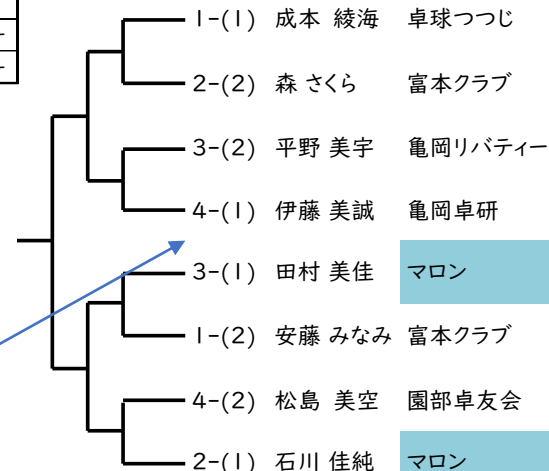
1ブロック		2ブロック		3ブロック	
1	成本 綾海	卓球つつじ	2	石川 佳純	マロン
8	安藤 みなみ	富本クラブ	7	森 さくら	富本クラブ
9	加藤 美優	ほのぼの	10	野村 萌	ほのぼの
14	早田 ひな	卓球つつじ	13	長崎 美柚	園部卓友会

4ブロック		
4	伊藤 美誠	亀岡卓研
5	松島 美空	園部卓友会
12	木原 美悠	亀岡卓研

- 1)シード順を記入(前年度成績でシード1~4は決まる)
参加名簿で同じチームは強い順に並んでいる
- 2)決勝トーナメントで同じチームはなるべくばらけさせる
シード順3と4を入れ替える(シード順の入れ替えはなるべく近い数字を入れ替える)
- 3)予選ブロック内の同じチームをばらけさせる
シード順13,14を入れ替え,10,11を入れ替える
③④で入れ替えればトーナメント表には影響しない
学生やロ丹地域が固まらないように

色付け⇒ マロン

試合順ブロック-順位



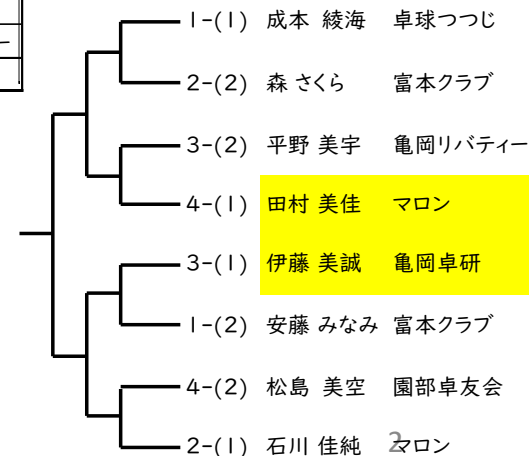
完成

参加者名簿		
シード順	氏名	クラブ名
2	石川 佳純	マロン
4	田村 美佳	マロン
9	加藤 美優	ほのぼの
11	野村 萌	ほのぼの
7	森 さくら	富本クラブ
8	安藤 みなみ	富本クラブ
6	平野 美宇	亀岡リバティエ
10	森蘭 美咲	亀岡リバティエ
3	伊藤 美誠	亀岡卓研
12	木原 美悠	亀岡卓研
5	松島 美空	園部卓友会
14	長崎 美柚	園部卓友会
1	成本 綾海	卓球つつじ
13	早田 ひな	卓球つつじ

1ブロック		2ブロック		3ブロック	
①	成本 綾海	卓球つつじ	①	石川 佳純	マロン
②	安藤 みなみ	富本クラブ	②	森 さくら	富本クラブ
③	加藤 美優	ほのぼの	③	森蘭 美咲	亀岡リバティエ
④	長崎 美柚	園部卓友会	④	早田 ひな	卓球つつじ

4ブロック		
①	田村 美佳	マロン
②	松島 美空	園部卓友会
③	木原 美悠	亀岡卓研

試合順ブロック-順位



組み合わせ用のノートパソコンを貸与できます

このページあまり考慮していない

2022年7月までの団体戦組合せ基準

「同じクラブの2チームが予選1位で決勝トーナメントに進んだ場合に決勝まで対戦しないようにする」となっていたが、下記のような課題があるため、2022年8月以降は臨機応変に対応する。

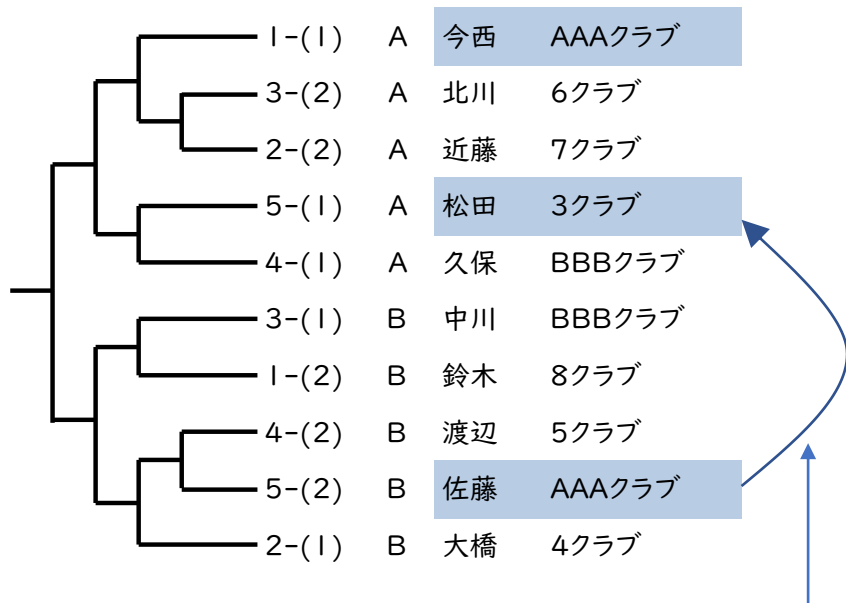
同じクラブの2人(または2チーム)を予選1位と2位上ガリを予測した場合の組み合わせ課題

2位を予測した人(またはチーム)も1位上がりすると、トーナメントでは予測の反対のゾーンになり同じクラブ同士で準決勝までに対戦する。

課題の具体例)

5ブロックの2位を予測した佐藤が予選1位上がりした場合は、5-(1)となり同じチームの今西と準決勝までに対戦することになる

ブロック-順位 ゾーン 氏名またはチーム名 申し込みクラブ

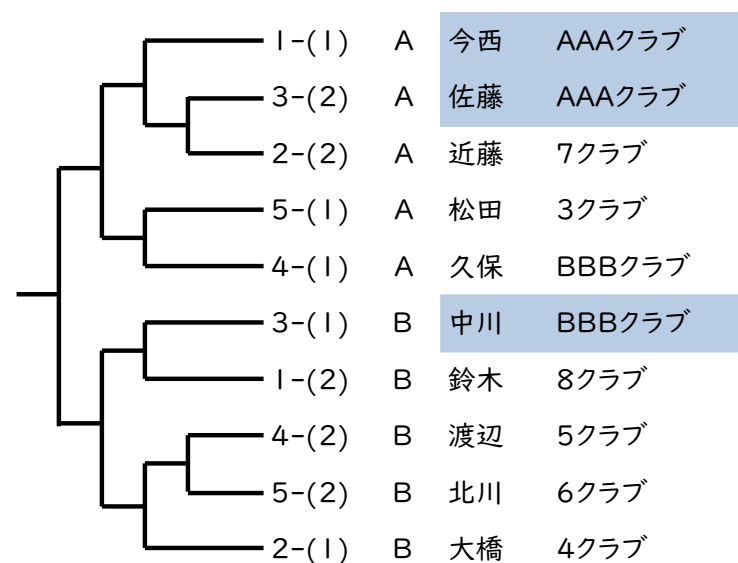


トーナメントでは同じブロックの1位と2位は決勝までに対戦しないように反対のゾーンになっているため

対応策)

1位と2位を予測する2人(または2チーム)を準決勝までに対戦するようにすれば、両方が予選1位上がりした場合は、決勝までに対戦しない。ただし、参加数が少なくて予測通り予選2位の場合は下記のように直ぐに対戦してしまうので、この対応策採用は組合せ担当者の判断に委ねる。

ブロック-順位 ゾーン 氏名またはチーム名 申し込みクラブ



上記対応案で、予選リーグ3位、4位予測まで含めて1位上がりした場合のことまで考慮するのは困難。

各種大会運営・進行の留意点(2)

3, トーナメント戦の進行について

○ 回戦については、会長又は理事長が全てのクラスをコールします。

・2回戦以後については、各級の担当理事がコート・選手・審判をコールしてください。

(例) 男子◇級○コートの試合をコールします。●●クラブの○○さん、▲▲クラブの△△さん、○コートにお入りください。審判は■ ■クラブの□□さん、お願いします。(ゆっくりで構いません、はっきりコールしてください)

・担当理事が試合で本部席にいない場合は、男子の試合は男性理事が、女子の試合は女性理事が、中学生の試合は手すきの理事が対応してください。

・審判は敗者審判が基本です。トーナメント表をよく見て、試合コート・対戦選手・審判をコールしてください。少しずつ慣れていって下さい。

・準決勝、決勝戦のコールです。(例)ただいまより○コートで、男子◇級の準決勝(決勝戦)を行います ●●クラブの○○さん、▲▲クラブの△△さん、○コートにお入りください。審判は■ ■クラブの□□さん、お願いします。(ゆっくりで構いません、はっきりコールしてください)

トーナメント表の作成と記載について

トーナメント表は予選リーグの結果で名前シールを貼り付ける。名前シールが貼り付けられないで残った場合には、棄権であることを確認する。

・コートが決まればコートNo.を黒鉛筆で記載し、コールしたらNo.を○で囲み、試合が終わったら斜線で消すこと

・勝者ラインと敗者の取得ゲーム数は赤ペン

・最後に入賞者を黒ペンで記載(賞状作成のため)

1位 ○○(○○クラブ)

2位 △△(△△クラブ)

3位 ◇◇(◇◇クラブ) ←1位に負けた人

3位 ▽▽(▽▽クラブ) ←2位に負けた人

3,4位トーナメントは1位の記載だけでOKです